

# 平成29年度 事業報告書

平成29年4月 1日から

平成30年3月31日まで

学校法人 共立学園

## 学園概要

### 1. 法人の概要

名 称 学校法人 共立学園（昭和44年2月21日法人設立）  
 代表者 理事長 内藤 芳雄  
 住 所 大阪府和泉市伏屋町3丁目5番22号  
 電 話 0725-55-2199  
 F A X 0725-57-2025

#### 設置する学校

住 所 大阪府和泉市伏屋町3丁目5番22号  
 名 称 幼保連携型認定こども園 新光明池幼稚園

#### 役 員

理 事 6名 監 事 2名  
 評議員 13名  
 理事会 3回開催 評議員会 3回開催  
 職 員 55名

### 2. 事業計画

#### 《教育方針》

園生活を通して、きちんとすべき時はきちんとできるように、又、自由に表現すべき時は、個性を発揮できるよう導いていく。

#### 《教育内容》

お友達や先生との関わりあいを大切に、それに加えて、多様な園外保育、さまざまな専門講師による指導や自然教育など、経験重視の保育を行っている。

		3歳児		4歳児		5歳児		①3～5歳計	
		クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数計	園児数計
定 員	1号	5	60	3	60	3	60	11	180
	2号		20		21		21		62
27年度	1号 2号 計	5	85	2	55	3	60	10	200
28年度		4	85	3	83	2	58	9	226
29年度		5	82	3	82	3	87	11	251

		0歳児	1歳児	2歳児	② 0～2歳園児数計	①+② 0～5歳 園児数計
		園児数	園児数	園児数		
定員	3号	12	18	18	48	290
27年度		6	12	12	30	230
28年度		3	13	18	34	260
29年度		12	16	19	47	298

《保育時間》

開園時間：7：30～18：30

①教育標準時間：10：00～14：30

②保育標準時間：7：30～18：30

②保育短時間：8：30～16：30

《公定価格》

利用者負担金 1号、2号、3号認定ごと、各市で定められた額

《上乗せ徴収》

特別活動費 1号、2号 月額2,000円

教育拡充費 1号、2号 月額3,000円（満3歳児のみ）

《実費徴収》

バス維持費 1号、2号 月額3,600円

給食費 1号 月額3,000円

主食代 2号 月額1,500円

保育教材費 3号 月額1,000円

布団リース代 2号、3号 月額1,200円

《その他の費用》

入園受入準備費 30,000円

《延長保育料金》

1号認定こども（2号、3号は別に定める）

午前の部 午前7時30分～8時30分 400円（上限10回以上4,000円）

午後の部 午後2時30分～午後4時 400円（上限10回以上4,000円）

午後2時30分～午後5時30分 800円（上限10回以上4,000円）

午後2時30分～午後6時30分 1,000円（上限10回以上10,000円）

《半日保育時の延長保育料金》

正午～午後5時30分 800円（給食400円）

正午～午後6時30分 1,000円（給食400円）

《長期休暇の預かり保育料金》

午前7時30分～午後6時30分 1時間200円（給食400円）

《行事》

遠足（年長、年4回、年中・年少・満3歳児、年3回）、参観日（年7回）、学年集会、クラス別懇談会（年3回）、七夕祭り、宿泊保育（年長、年中）、移動動物園、運動会、作品展、おもちゃつき、クリスマス会、クリスマスコンサート（鑑賞会）、生活発表会、水上運動会（年長）

#### 《施設関係》

園地面積 4, 163. 56 m<sup>2</sup> 園庭面積 1, 346. 38 m<sup>2</sup>

園舎面積 2, 161. 28 m<sup>2</sup>（RC造 2階建他2棟）

保育室11室、乳児室・ほふく室2室、遊戯室1室、調理室1室、

子育て支援室1室

認定こども園整備工事完了（平成29年12月1日竣工）

#### 《設備関係》

認定こども園整備工事完了（平成29年12月1日竣工）

## 平成29年度 学校法人共立学園 事業報告

学校法人共立学園は予てからの園舎老朽化および「子ども・子育て支援新制度」にかかる機能の充実に向けて、平成28年度より認定こども園整備工事を行い平成29年12月に無事竣工しました。これにより子ども達は安全な場所でのびのびと当園の教育保育を受けることが出来るとともに、従事する教職員も安心して業務に集中出来る環境を整えることが出来ました。

今回2か年にわたる大規模工事となりましたが、工事期間中も教育保育内容の質や取り組みについては教職員一丸となり維持に努めました。また限られた園内環境での取り組みではありましたが、当該工事期間を乗り越えたことで教職員間には更に強い結束を得ることが出来たものと考えております。合わせて、保護者の方々や近隣住民の方々にも数々の不便をおかけした中、学園運営や方針に理解頂きながら大きな苦情も事故もなく実施出来たことに心から感謝申し上げます。

当学園は平成27年度「子ども・子育て支援新制度」スタートとともに幼保連携型認定こども園に移行しておりますが、平成29年度は3年目ということで、園内外における幼保一帯の取り組みもようやく馴染んできた面はあります。しかしながら幼稚園由来の新制度園ならではの「教育」と「福祉」の融合に向けては、まだまだ課題点多々見受けられます。時代は待機児童解消に向けて、私立幼稚園も新制度移行有無に関わらず行政一体となって取り組んでおります。本市の待

機児童数は例年40～50人（年度末）ということで発表されておりますが、一人でも解消されるように当学園としても市と連携して今年度も取り組んで参りました。並行して当園教育内容の質的向上にも確実に取り組みながら、特別支援への取り組みや休日保育事業および地域連携等、引き続き独自の形を模索しながら時間をかけて創り上げていくことが、将来に向けて必要とされる園づくりにつながっていくものであると考えております。

## **平成29年度 学校法人共立学園 財務状況**

別紙の通り